

# 本学アスリート職員が

## 平昌五輪代表入り

### アイスホッケー女子3選手

本学職員の獅子内美帆(総務部所属)、藤本もえこ(総務部所属)、浮田留衣(人事部所属)の3人が、ことし2月9日に開幕する平昌五輪のアイスホッケー女子日本代表選手に選出されました。

さらに本学からは、飯塚祐司(人事部所属)が代表チームのコーチとして参加します。

前回ソチ五輪の悔しさをバネに4年間厳しい練習を重ねた選手たち。メダル獲得を目指す彼女たちに大きな声援をよろしくお願いします。

#### 平昌オリンピック

##### 本番に向けての抱負



飯塚 祐司

スマイルジャパン(女子アイスホッケー)日本代表チームは平昌五輪での成功に向けて厳しい練習を積み重ねてきております。4年前のソチ五輪での悔しい思いを忘れずに戦ってきたと思います。スマイルジャパンへのご声援をよろしくお願ひ致します。



藤本もえこ

ソチ五輪では全敗と悔しい思いをしたので今回は自分の持ち味である運動量を生かしゴールを狙いメダルを獲得しようという目標に貢献したいと思ひます。また、いつも支援助けてくださる職場の皆さまにも恩返しができるよう結果を残したいと思ひます。



浮田 留衣

4年前のソチ五輪では全敗に終わり、相手のレベルの高さに圧倒され、思うようにプレーができず悔いの残る五輪になってしまいました。

平昌五輪では、その悔しい気持ちを忘れず、4年間勝つために成長できたと思っているので自信を持って戦い、メダル獲得に貢献したいです。



獅子内美帆

ソチ五輪で全敗という悔しい思いがあったからこそ、ここまで挫折や厳しいトレーニングも乗り越えてこられました。

応援、サポートしてくださっている昭和大学の皆さまの為に平昌五輪では全力で戦い、最高のスマイルを見せられるよう頑張ります。

# 土佐泰祥准教授が

## マダガスカル国家勲章を受章

医学部形成外科学講座の土佐泰祥准教授がマダガスカル共和国の国家勲章を受章した。

2011年からマダガスカル共和国において150人以上の口唇口蓋裂の子どもたちに手術を行った功績が認められた。

12月6日、駐日マダガスカル大使館で開催された叙式でラジャヤオナリマンピ



マダガスカル共和国大統領の挨拶



(左端) 土佐泰祥准教授

### マダガスカル国家勲章

#### 受章について

##### 医学部形成外科学講座

##### 准教授 土佐 泰祥



驚きとともに大変光栄なことに感じております。本プロジェクト発起人の曾野綾子氏、マダガスカル政府、駐日マダガスカルRasouana native代理大使をはじめ大使館関係者の皆様、日本政府、歴代在マダガスカル日本国川口哲郎元大使閣下、細谷龍平前大使閣下、小笠原一郎大使閣下をはじめマダガスカル日本国大使館関係者の皆様、本学として

バックアップを御快諾下さいました小口勝司理事長、片桐敬前学長、小出良平学長に深謝致します。

7回のミッションを通して関わって下さったすべての人々とともに頂いたものと感謝を感じ、今後もマダガスカルとマダガスカルの子どものために出来るだけのことを続けていきたいと考えています。

# マダガスカル口唇口蓋裂医療協力報告会

マダガスカル口唇口蓋裂医療協力に参加したメンバーが12月1日、昭和大学病院臨床講堂で報告会を行った。

団長の土佐泰祥准教授



医療協力に参加した4人の学生



マダガスカル共和国からの留学生

(形成外科学講座)が今回の活動について総括し、7年間で行った手術が150件を超えたことが報告されると、4学部の学生4人、マダガスカル共和国からの留学生、歯科医師、看護師、そして麻酔科医がそれぞれの立場から感じたことを発表した。

最後は取材班として同行した映画監督の山本晋也氏が約8分の記録映像をお披露目した。

#### 自分とは違う

##### 誰かに思いやりを

#### ヒューマンライツ・

##### トークショーを開催

昭和大学人権啓発推進イベント「ヒューマンライツ・トークショー」が11月16日、旗の台キャンパス上条講堂で開かれ、株式会社ミライロ講師の岸田ひろ実氏が「障害を価値へ、そして最高の人生へ」ユニバーサルマナーで社会を変える」と題して講演した。

愛する家族への度重なる苦難に加え、自身も大動脈解離の後遺症によって下半身が麻痺し、車いすの生活を余儀なくされ絶望の淵にあつたとき、娘からのとある励ましの一言がきっかけで生きることに前向きになれたと語る岸田氏。障害を持つている自分だからこそできることがあることに気が付き、障害者や高齢者への接し方を伝えるユニバー

#### 山口 淳

##### 人権啓発推進課 課長のコメント

医系総合大学ならではの企画として、これまで様々なジャンルから講師をお招きし人権啓発に資する目的で本イベントを開催してきました。岸田さんの講演から、笑顔でいることの大切さ、ハードは難しくてもハードは今すぐにも変えられることなど多くの気づきを得ることができた。今後このイベントを通して学内外に本学の人権啓発への取り組みを幅広く周知していきたい。



講演後に職員から花束を贈呈

### 「昭和大学至誠塾」平成30年度塾生(10期生)の募集について

昭和大学至誠塾は、本学の継続的な発展を期し、これを担う職員を育成するため、平成21年度に開塾しました。第1期から第7期塾生95名が既に修了しており、現在は第8期塾生15名、第9期塾生16名が大学運営に必要な知識等について鋭意学習しています。平成30年度も引き続き、本学は優れた人材を育成していくために、下記のとおり幅広く塾生を募集いたします。年齢制限はありませんので、積極的に応募してください。

記

- ① 入塾定員：10名程度
- ② 修業年限：2年
- ③ 期間：平成30年4月～平成32年3月
- ④ 開講日時：原則として毎月、1年次は第1・第2・第3水曜日、2年次は第4水曜日とし午後6時から開講する。
- ⑤ 講義会場：旗の台校舎 1号館
- ⑥ 応募資格：本学の専任職員とし、所属部門・年齢を問わない。 ※自薦・他薦を問わない。
- ⑦ スタッフ：塾長(理事長)・副塾長(学長・総務担当理事・財務担当理事・事務局長)
- ⑧ 運営方式：スタッフ講師による講義及びワークショップ形式
- ⑨ 応募方法：所定の応募用紙を学内専用ホームページ(お知らせページ)からダウンロードし、必要事項を記入のうえ、総務部企画課(旗の台校舎1号館1階)宛にご提出下さい。
- ⑩ 応募締切：平成30年2月2日(金)
- ⑪ 選考：塾生の採否は、大学において決定し通知します。
- ⑫ 問い合わせ先：総務部 企画課(担当：青柳・市川) 電話：03-3784-8011 メール：kikaku@ofc.showa-u.ac.jp

**医学堂書店**

ご出張までメールのやり取りだけ!

飛行機の手配  
ホテルの手配  
公的研究費のお手続き  
立て替え払い不要!  
チケットのお届け

女性スタッフがきめ細やかに  
対応いたします。

昭和商事株式会社 3784-8280

品川区 旗の台  
電話(03) 3783-9774